

## グッドスピード(東 M:7676)

バリュエーション判断  
前回 強気 ⇒ **強気**  
(2020.3.2)  
目標株価  
2,290 円 ⇒ **1,570 円**

電話取材:2020年3月25日

担当:石飛 益徳

【非連結】 (百万円、%、円:権利落ち修正後、Q/四半期、会/会社計画、予/エース経研予想)

決算期	売上高	伸率	営業利益	伸率	経常利益	伸率	当期利益	伸率	EPS	配当
2019/9 2Q	14,807	—	196	—	154	—	102	—	56.9	—
2020/9 2Q会	15,880	7	150	-23	80	-48	58	-43	18.9	—
2018/9	22,751	43	200	33	149	60	91	20	50.7	5.00
2019/9	32,393	42	405	103	318	113	193	112	82.6	5.00
2020/9 会	39,500	22	500	23	360	13	213	10	69.6	7.00
2020/9 予	39,600	22	550	36	410	29	240	24	78.4	8.00
2021/9 予	49,600	25	760	38	610	49	370	54	120.7	12.00

注. 2020年1月1日付で、株式分割1株→2株。

【売上構成】	20/9期第1Q	【PER】	【財務指標】	19/12末
中古車販売関連	94.8%	19/9	4.4 BPS	451円 株価(3/24終値)
付帯サービス関連	5.2%	20/9予	4.6 純資産	1,381百万円 売買単位
		21/9予	3.0 総資産	13,812百万円 発行株数
			時価総額	2,207百万円 PBR
				720円 100株 3,065千株 1.6倍

## &lt;注目ポイント&gt;

— SUV・4WD に特化した中古車販売と附帯事業(安心・快適・楽しいカーライフ)を展開 —

- ①同社は3月19日、今第2四半期業績予想の下方修正を発表した。売上高182億96百万円→158億80百万円、営業利益2億66百万円→1億50百万円、経常利益1億84百万円→80百万円、当期利益1億14百万円→58百万円とした。
- ③第1四半期は消費増税の反動が想定以上に大きく、前年同期比9%増収の75億33百万円、営業利益同93%減の5百万円、経常損失17百万円(同▲88百万円)、当期利益0百万円(▲48百万円)と増収大幅減益。
- ③第2四半期は消費増税の影響こそ一巡したものの、2月下旬以降の新型肺炎の感染拡大に伴う影響で、来店客数や販売台数が想定を10%程度下回る状況となっている。また、オークション会場や業者向け販売も減少。売上未達による固定費負担の増加が減益要因に。
- ④会社側は、新型肺炎の感染が4月中に落ち着けば販売の挽回は可能として、通期計画の売上高395億円(前期比+22%)、営業利益5億円(同+23%)、経常利益3億60百万円(同+13%)、当期利益2億13百万円(同+10%)は据え置いた。出店は計画通りの進捗。
- ⑤エース経済研究所でも、現時点で今期予想の売上高396億円、経常利益4億10百万円、当期利益2億40百万円を据え置く。ただ、新型肺炎の拡大が長期化した場合には見直す。

## 目標株価 1570 円、バリュエーション判断は強気継続

新型肺炎による世界的な株安により、市場全体のバリュエーションが低下していることを考慮し、目標株価を今期予想 EPS×PER20 倍の 1570 円に見直す。バリュエーション判断は強気を継続する。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載致しました。ご確認の程、お願い致します。

### 《アナリストによる宣言》

私、石飛益徳は本調査資料に表明された見解が、対象企業と証券に対する私個人の見解を正確に反映していることをここに証明します。

また、私は本調査資料で特定の見解を表明することに対する直接的または間接的な報酬は、過去、現在共に得ておらず、将来においても得ないことを証明します。

### 《利益相反に関する開示事項》

- エース証券株式会社(以下、エース証券)及びグループ会社は、本資料に掲載された企業の売買あるいは当企業に対し、引受、その他のサービスを提供する場合があります。
- 株式会社エース経済研究所(以下、ARI)は、エース証券との契約に基づき、エース証券への資料提供を一定期間、継続的に行うことに対し包括的な対価をエース証券から得ておりますが、本資料に対して個別に対価を得ているものではありません。
- また、銘柄選定も ARI 独自の判断で行っており、エース証券を含む第三者からの銘柄の指定は一切受けておりません。
- 執筆担当者、ARI と本資料の対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

### 金融商品取引法に基づく表示事項

#### ■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等： エース証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第 6 号

加入協会： 日本証券業協会

指定紛争解決機関： 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

#### ■手数料等及びリスクについて

- 株式の売買には、約定代金に対して最大 1.265%の手数料(約定代金が 100 万円以下の場合、最低手数料 2,750 円)(税込み)が必要となります。
- 外国株式(中国株を除く)の取引には、国内の取引所金融商品市場における外国株券の売買等のほか、外国金融商品市場等における委託取引と国内店頭取引の 2 通りの方法があり、当該取引には、所定の手数料等(委託取引の場合は約定代金に対して最大 11.0%(75,000 円以下の場合・税込)の委託手数料及びその他現地手数料等、国内店頭取引の場合は所定の手数料相当額、等)をご負担いただく場合があります。
- 株式は、株価の変動により、損失を生じるおそれがあります。
- 上場有価証券等書面の内容をよくお読みください。
- 外国株式は、為替相場の変動等により、損失を生じるおそれがあります。
- 非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買い付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。
- 債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。
- 外国債券は、為替相場の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 商品毎(投信・外債含む)に手数料等及びリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

### エース証券及び ARI 免責事項等

- **当資料により株式・債券・その他金融商品(投信・外債含む)等の勧誘を行うことがあります。**本資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。また、株式・債券等の有価証券の投資には、「手数料等及びリスクについて」に記載のとおり、損失を生じるおそれがあります。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
  - 本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて ARI が作成し、エース証券(以下、当社)がお客様にご提供いたしますが、当社及び ARI は、ARI が基にした情報及びそれに基づく要約または見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更することがあります。
  - 本資料を利用した結果、お客様に何らかの損害が発生したとしても、当社及び ARI は、何らの責任を負うものではありません。
- ※(著作権等)・・・本資料に関する一切の知的財産権は、原則として ARI に帰属します。電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、本資料の無断転用、複製等を行わないようお願い致します。
- ※ 尚、出所記載なき資料は各種資料より ARI 作成。